



に期待 13億円

ふるさと寄附

平成29年度
当初予算

総額241億4744万円を可決

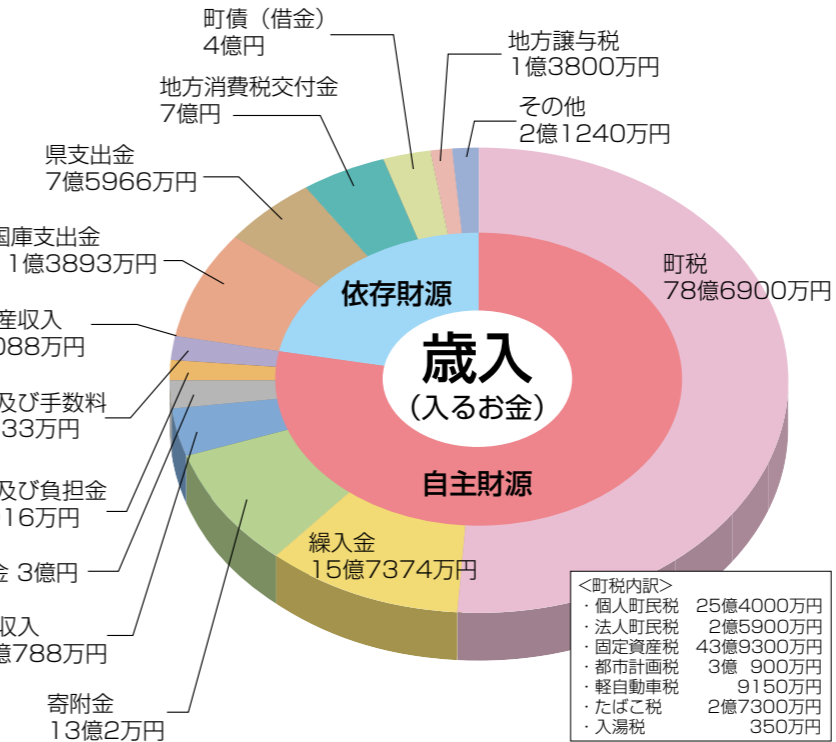
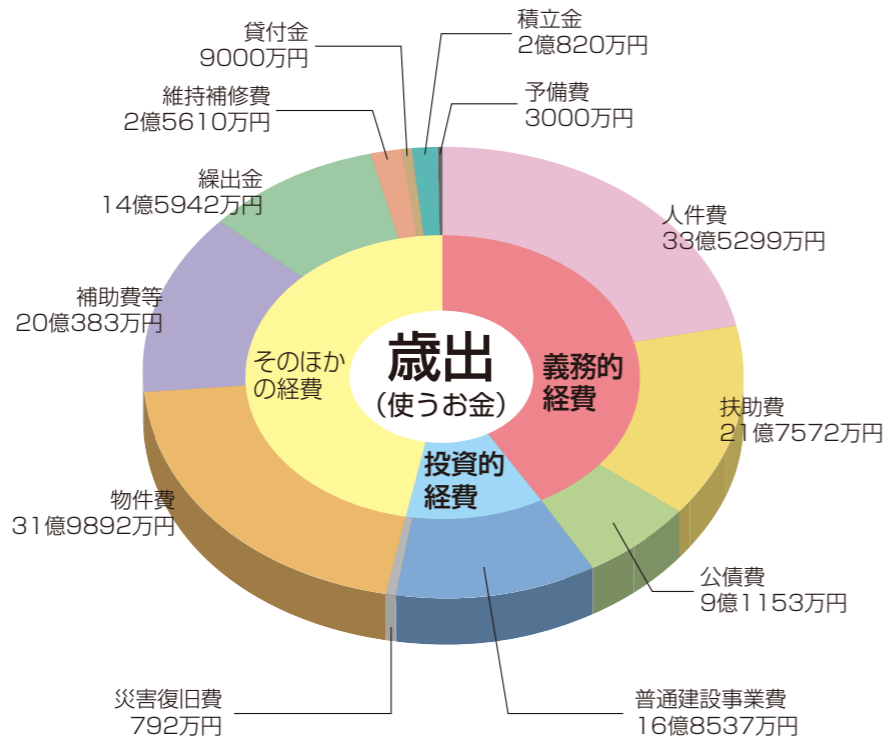
一般会計予算153億8000万円の内容

義務的経費
64億4024万円

支出することが制度的に義務づけられている経費

投資的経費
16億9329万円

支出の効果が固定的な資本の形成に向けられる経費



自主財源
120億3101万円

個人町民税、法人町民税、固定資産税、たばこ税や線入金などの独自に確保できる収入

依存財源
33億4899万円

国・県などの補助・交付金や町債など

<町税内訳>

個人町民税	25億4000万円
法人町民税	2億5900万円
固定資産税	43億9300万円
都市計画税	3億900万円
軽自動車税	9150万円
たばこ税	2億7300万円
入湯税	350万円

各会計別の当初予算と採決状況

会計区分	予算額	前年度比 (%)	採決の状況	
一般会計	153億8000万円	7.9	反対2：賛成13で可決	
特別会計	土地取得	3807万円	67.0	全員賛成で可決
	国民健康保険	38億4472万円	1.3	反対2：賛成13で可決
	後期高齢者医療	4億61万円	10.2	反対2：賛成13で可決
	介護保険	19億4360万円	5.9	反対2：賛成13で可決
	幸田駅前土地地区画整理事業	3億3436万円	▲34.1	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	3億4856万円	▲7.4	反対2：賛成13で可決
水道事業会計	下水道事業	7億5358万円	0.8	反対2：賛成13で可決
	収益的支出	7億3230万円	▲0.2	
	資本的支出	3億7164万円	▲40.2	反対2：賛成13で可決
合計	241億4744万円	3.8		



音響設備などの改修が必要な町民会館

平 成29年度の一般会計予算は、153億8000万円、前年度に比べて11億2000万円の増額となった。過去の大型予算となった。左の表にある7つの特別会計と水道事業会計を合わせて、総額241億4744万円となる。

歳 入の大半を占める町税の総額は、78億6900万円、前年度と比べて1億3800万円の増額となる。

国 庫支出金は、11億3893万円、前年度と比べて11億3893万円の増額となる。

しかし、返礼品、手数料などの経費が必要となる。

町民会館大規模改修に 5億3400万円

00万円で、前年度と比較して4・8%の減額となる。これは、自動車関連企業の減収減益が見込まれるため、その補填として、ふるさと寄附金を大幅に増額している。

しかし、返礼品、手数料などの経費が必要となる。

庫支出金は、11億3893万円で12・1%の増額となる。これは、小学校の校舎増築や認定子ども園建設に係る補助金が減少したため。

借 金にあたる町債は、児童館建設、消防指令システム整備などで、4億円とし、7・9%の増額となる。主な新規事業は、次のページをご覧ください。

賛成

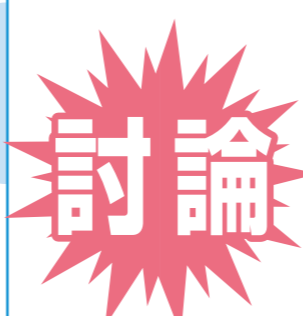
伊與田伸吾議員

持続可能なまちづくりを期待

社会経済情勢が変動する中において、多くの取り組むべき事業があるが、必要とする財源には限りがある。

予算は、後年度の事業をも考慮したものであり、財政の健全化と持続可能なまちづくりを見据えたものである。

予算執行にあたっては、「みんなてくる元気な幸田」実現に向け、一層の努力を期待する。



反対

伊藤宗次議員

文章あっても意味不明な予算だ

大企業に適正課税適用で財源確保を。中学生海外派遣中止。その予算横取りしなせ、高校生、一般町民のカンボジア訪問か。小中学生修学旅行費保護者負担軽減に役立てよ。

18歳まで医療費無料化を。

ごみ袋代、1袋10円以下に。

企業立地だ、誘致だと叫んでも工場用地はない。

文章あっても意味不明の予算だ。

反対

丸山千代子議員

福祉増進を進める町政に

法人町民税の一部国税化や企業の業績悪化で町税が大幅減収。制限税率の引き上げで財源確保を。

児童クラブ、下水道使用料引き上げ、太陽光発電システム補助廃止は住民要望に背を向けるものだ。

坂崎小、北部中の校舎増築はプレハブではなくRC構造で格差を持ち込まない。安心して暮らせるまちづくり、福祉増進の町政に。